2017 年上半期日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長
愛知製鋼㈱
長屋　大輔

2017 年上半期は、フェライト、希土類ボンド磁石の生産量が共に増大傾向にあり、特に希土類ボンド磁石は車載用途もあり際立って増加している。

一方で、ここ最近落ちついてきていた希土類材料価格でありますが、中国の環境規制強化の取り組みにより、価格上昇傾向にある。

ただし、豪ライナス社の前年比 30%増の増産、豪ノーザンミネラルズ社の重希土類の新規供給ソースの登場と希土類材料の安定供給の環境も整いつつある。

[フレキシブルフェライトボンド磁石]

昨年度と同等の推移をしており、依然マグネットシート関連の用途については堅調に推移している。

[リジットフェライトボンド磁石]

家電及び自動車向けで増大傾向にある。家電ではエアコン用、自動車用ではポンプ用及びセンサ用の伸びが影響していると思われる。

プリンタ・複合機市場等の OA 分野については、前年比同等の推移。

[希土類ボンド磁石]

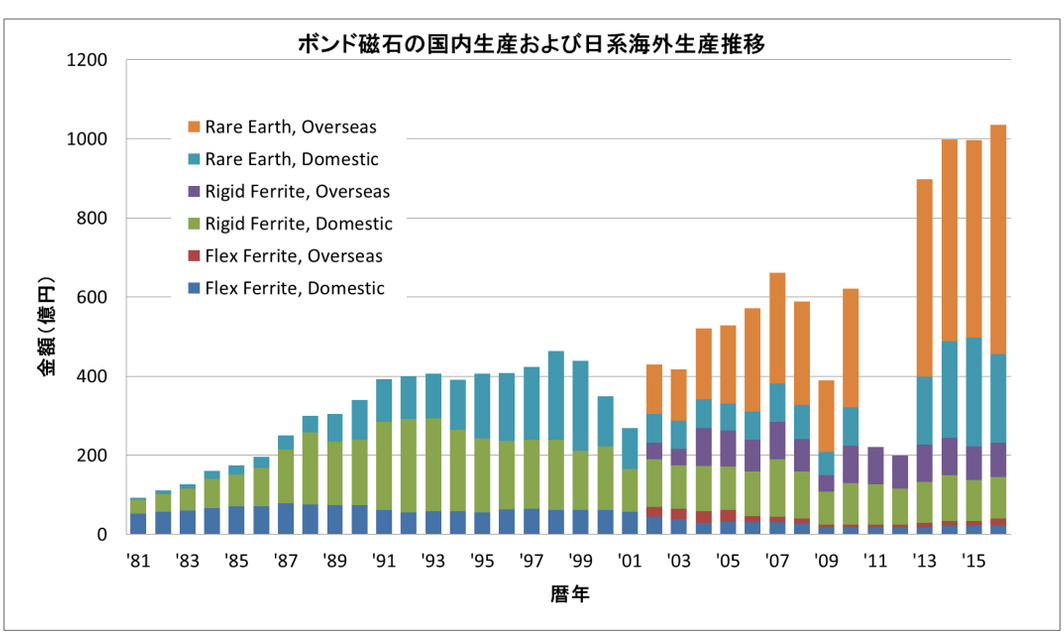
希土類系は、本分野を牽引している MQP 生産量が増大傾向にある。

2011 年の Nd、Dy の希土類高騰ショックも落ち着き、自動車分野への採用が活発化している。

モータの高効率化、及び高速回転化によるモータの小型化が進展しており、高電気抵抗率かつ形状自由度を持つボンド磁石が今後の牽引役のひとつになりうると考える。

企画委員会としては、これまでの日本, 中国生産情報に加えて、今後は海外のマーケット情報を取り入れ精度を上げていく予定である。

ボンド磁石国内生産推移及び日系海外生産推移 2003 ～ 2016

日本ボンド磁性材料協会
2017/9/8

		'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16
フレキシブル	重量（ton）	6,005	5,025	4,580	4,030	3,970	3,610	2,530	2,600	2,600	2,550	2,700	3,240	3,240	3,240
フェライト系	金額（億円）	38	29	33	31	30	27	19	19	19	19	19	23	23	23
（日系海外生産）	金額（億円）	27	30	28	15	15	13	5	5	5	5	11	11	11	17
国内・海外生産小計	金額（億円）	65	59	61	46	45	40	24	24	24	23	29	34	34	40
リジッド	重量（ton）	6,820	8,000	7,800	7,640	9,800	8,100	5,670	7,000	6,800	6,000	6,800	7,480	6,730	6,800
フェライト系	金額（億円）	109	114	110	113	145	119	84	105	102	91	103	116	104	105
（日系海外生産）	金額（億円）	43	96	92	80	95	82	42	95	95	85	94	94	85	86
国内・海外生産小計	金額（億円）	152	210	202	193	240	201	126	200	197	176	197	210	189	191
希土類系	重量（ton）	500	600	530	450	600	520	360	600	700	800	900	1,250	1,400	1,150
	金額（億円）	73	72	68	72	96	87	58	97	-	-	171	245	274	225
（日系海外生産）	金額（億円）	130	180	197	260	280	260	182	300	-	-	500	510	500	580
国内・海外生産小計	金額（億円）	200	252	265	332	376	347	240	397	-	-	671	755	774	805
国内生産合計	重量（ton）	13,895	13,623	12,910	12,120	14,370	12,230	8,560	10,200	10,100	9,350	10,400	11,970	11,370	11,190
	金額（億円）	238	215	211	216	271	233	161	221	-	-	293	384	401	353
（日系海外生産）	金額（億円）	200	306	317	355	390	355	229	400	-	-	605	615	596	683
国内・海外生産合計	金額（億円）	417	521	528	571	661	588	390	621	-	-	897	999	997	1,036